



三遠南信地域は、愛知県東部の東三河地域、静岡県西部の遠州地域、長野県南部の南信州地域からなる3県の県境地域です（図表1）。

天竜川や豊川など中央構造線の川筋・谷筋に沿って、「塩の道」を行き交う人々が、古くから海と山との交流を育み、民俗芸能をはじめとする特色ある文化や人・もの・情報のネットワークを形成してきました。また、昭和初期には、飯田線の前身である三信鉄道などが整備され、三遠南信地域の連携が大いに深まりました。

今日、三遠南信地域は、人口230万人、工業出荷額も13兆円を超え、圏域に広がる豊かな経済資源や多様な自然環境、特色ある歴史・文化などは、都道府県をも上回る大きなポテンシャルを有しています。

また、地域の骨格となる三遠南信自動車道や第二東名高速道路の整備が着実に進められ、三遠南信地域の一体的な振興発展を支える高度な社会基盤が整いつつあります。

一方、地方分権の流れの中で、平成の大合併により圏域の市町村も大きく再編されました。また、道州制の議論が活発化するとともに、国土形成計画の策定が全国を8つに分けた地方ブロック単位で進められるなど、県境を越えた広域的な地域づくりの検討が進められています。

三遠南信地域においても、自らの発展の方向性を明確に示すとともに、県境を越えた連携により、圏域を一体として、自立性の高い地域をつくり上げることが急務となっています。

こうした状況の中、地域住民をはじめ、大学、経済界、行政など、圏域の発展を願う様々な関係者が力を合わせ、ここに「三遠南信地域連携ビジョン」を策定しました。

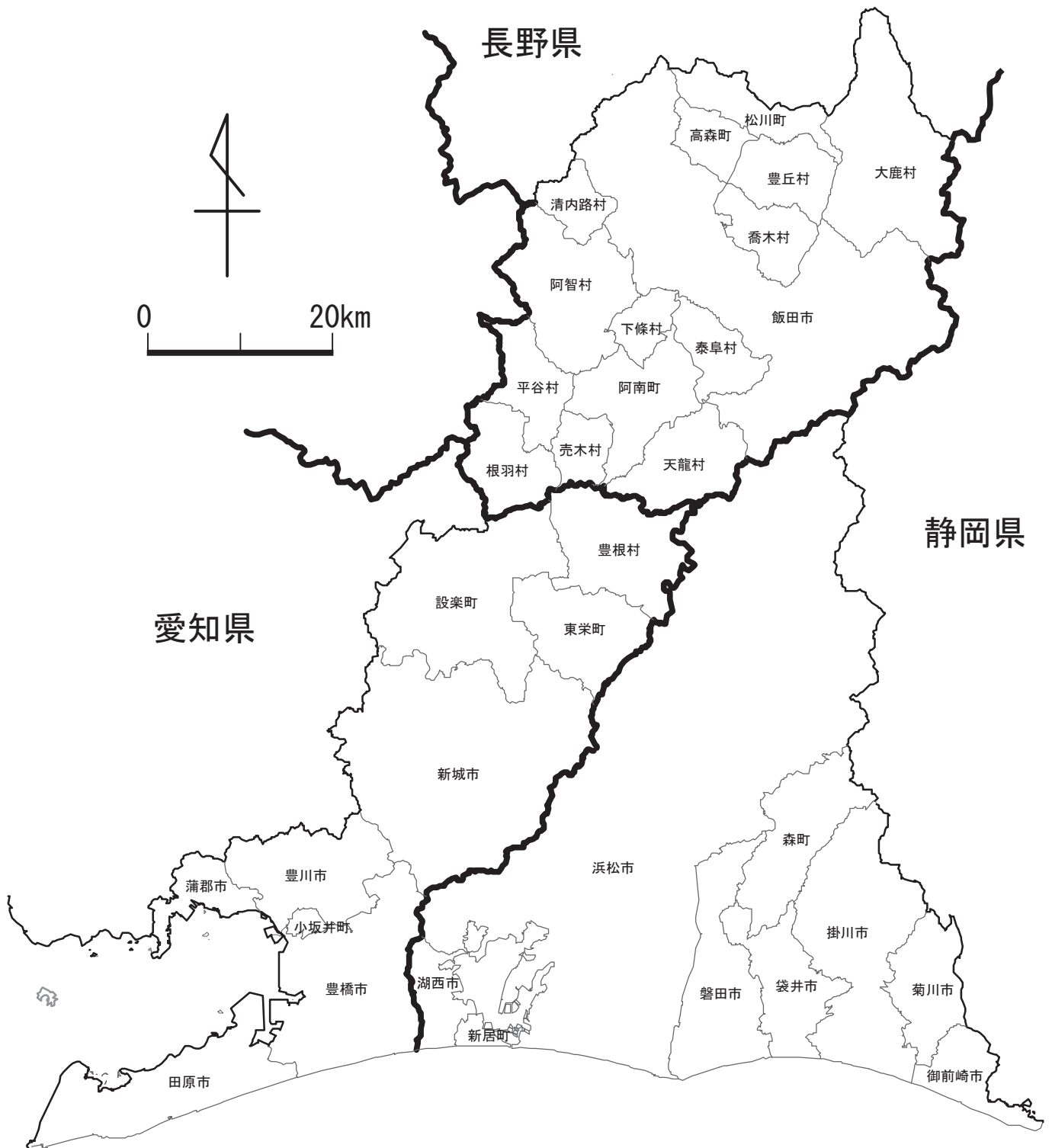
この地域連携ビジョンでは、地域の将来像を「三遠南信250万流域都市圏の創造」としました。東三河、遠州、南信州地域をエリアとする一体的な都市圏として、行政、経済、住民活動など様々な分野の交流・連携を一層深め、自立性の高い確固たる圏域を形成するとともに、そのポテンシャルを更に高め、中部圏のみならず我が国の持続的な発展においても積極的かつ重要な役割を果たしていきたいと考えております。

三遠南信地域で活躍するそれぞれの主体が、本連携ビジョンを共有し、三遠南信に対する思いと活動のベクトルを一致させることにより、相乗効果を発揮し、地域の振興発展を加速させていくことを期待しています。

圏域の皆様には、「三遠南信地域連携ビジョン」にご理解をいただきますとともに、ビジョン推進に積極的なご参加をお願い申し上げます。



■図表1 愛知・静岡・長野県境地域（三遠南信地域）



■図表 2 三遠南信地域を構成する市町村（平成 20 年 3 月現在）